

シンポジウム

「歴史的変容の時代における建設活動と建築法・制度の関わり、そして今後 10 年の歩み」

2011 年 10 月に「歴史的変容過程における建設活動と建築法・制度の関わり」の表題で開催したミニシンポを踏まえて、その後の様々な事件・事故・多様な発注方式などの動きをどうにみるのか、今後の展望はどうかなどについて意見交換したい。とりわけ、大きな変容過程としてとらえてきた建設活動や建築法・制度において、その後さらに大きな変容の時代ともいうべき多様な発注方式の出現、BIM 等生産システムを支えるハードソフトの技術革新、一方で、新国立競技場整備計画の白紙撤回、基礎ぐい工事問題によって表面化した重層下請構造の質的变化・生産システムの脆弱性などについて、意見交換しながら、関係社会規範のあり様について考えてみたい。

主催：建築社会システム委員会

日時：2017 年 1 月 24 日（火）13:00～17:00

会場：建築会館階会議室（東京都港区芝 5-26-20）

プログラム（予定）

13：00～13：20 趣旨説明 古阪秀三（京都大学）

13：20～13：50 仮題 1：建築プロジェクト関与者、とりわけ発注者の役割、
リスク、責任 平野吉信（広島大学）

13：50～14：20 仮題 2：多様な発注方式と変化しない契約方式 野口 久（国土交通省）

14：20～14：50 仮題 3：生産性向上と BIM 浦江真人（東洋大学）

14：50～15：10 休憩

15：10～15：40 仮題 4：建設産業界の重層下請構造 調整中

15：40～16：10 仮題 5：外国人労働者問題、鎖国と開国そして研修生制度
山本明男（鹿島建設）

16：10～16：40 議論 調整中

16：40～17：00 まとめ 金多 隆（京都大学）

参加費：会員 2,000 円 会員外 3,000 円 学生 1,000 円

（資料代含む、当日会場でお支払いください）

定員：50 名（申し込み先着順）

申込み方法：

●Web 申込み <https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=1686> よりお申し込みください。

問合せ：事務局事業 G 浜田 hamada@aij.or.jp TEL 03-3456-2051